

2011年度活動テーマ
発酵食品で放射能に打ち克つ健康づくり。人々の協力で被災地復興と大地再生。
発酵と復興

常総生活協同組合
発行/副理事長 大石
tel:050-5511-3926

COOP-JOSO News Letter

【ものづくり、人づくり、地域づくり】 震災・原発事故汚染から半年
2011年秋の「せいきょう強化月間」

生産者と共に食の安全を確認・検証しながら、産地支援、地産地消を取りもどそう！

地元茨城提携米めぐみちゃん 放射能不検出

県の「本検査」もパス。スタートは今週「ひとめぼれ」から
年間消費35トンで契約 前年比 125%

放射能に負けずに、みんなで地元の生産を支えよう！



ようやく笑顔になった生産者たち



16 ひとめぼれ 5kg



田植えもいっしょにやりました！

「発酵と復興」、2011年秋のせいきょう強化月間 5つの柱

- (1)「放射能に負けない身体作り～基礎免疫強化」を日本型食生活と発酵食品で！
- (2)生産者と共に食の安全を確認しながら産地応援・地産地消を取りもどそう！
- (3)脱原発と暮らし見直し。平和と安心の社会づくりを。
- (4)放射能汚染実態の調査で地域の子どもたちを守る活動をすすめてみましょう。
- (5)生産者に添いながら震災復興自立応援、福島再生応援をすすめてみましょう！

中刷りで、8/6『微生物が生命を救う』発酵と醸造の片山さん講演会報告！

【被曝予防セミナー】チェルノブイリ子ども基金 小児科医黒部信一先生 「放射線被曝から子どもたちを守るために」 10月2日(日) 13:30～16:30 つくばサイエンスインフォメーションセンター

東電福島原発の事故によって、私たちの生活空間が大量の放射性物質で汚染されてしまいました。これから長く放射能と向き合っていくためには、ゆかなくてはなりません。

子どもに外遊びをさせてよいのか、食べ物による内部被曝はどのように注意したらよいのか、子どもの身体への影響はどうか？

小児科医であり、チェルノブイリ子ども基金の医療顧問をされて内部被曝の問題にも取り組み、今回の事故では「未来の福島子ども基金」の代表として活動されている黒部先生をお招きして、放射線被曝の問題や予防についてわかりやすく学ぶとともに、参加者同士で日常生活や子育てについて話しあい交流する会とします。



【黒部信一先生紹介】
未来の福島子ども基金代表。チェルノブイリ子ども基金医療顧問。慶応義塾大学医学部卒。
国立埼玉病院小児科医長、吹上共立診療所所長を経て、現在堀之内病院小児科勤務。

黒部先生とは、3月の常総生協組合員の母乳検査から始まった「母乳調査・母子支援ネット」の発起人としてごいっしょさせて頂いています。

子供たち大丈夫ですか？

問診票 H23年 月 日

お名前
生年月日 年 月 日 ()才 男・女

あてはまるものに丸をつけてください。

高熱を出した ()度 微熱がある ()度

1. 頭痛 めまい	16. 髪の毛の抜け
2. 鼻血(右、左)、鼻水(色)	17. 目の異常(はれ、かゆみ、ヒリヒリ、熱くなる)
3. 首(つけね、リンパ、かたまり)	18. 耳鳴り
4. 甲状腺のはれ	19. 目の下にクマが出る
5. のど(チクチク、イガイガ、ヒリヒリ赤くないのに痛い)	20. せき(長く続く、喘息様)
6. リンパのはれ	21. たん(色、長く、からむ)
7. 吐き気、嘔吐	22. 腹痛、肩の上部の痛み
8. むかつき	23. 下痢(日ぐらい)
9. 不眠	24. 心臓病
10. 精神不安	25. 傷がなおりにくくなった
11. 集中力がない	26. アレルギーの悪化
12. 物が覚えられない	27. 皮膚のトラブル
13. 頭がボーッとする	28. 湿疹が出た
14. 突然の眠気	29. 湿疹が消えない
15. 突然の脱力	30. 雪焼け様の日焼け
	31. 皮膚ヒリヒリ、つっぱる
	32. 服の上からに日焼け
33. 関節の痛み	
34. 肝臓、排尿膀胱トラブル	
35. おねしょ	

他に気がついたことを書き込んで下さい。

既往歴

【会場案内】
つくばサイエンスインフォメーションセンター
つくば市吾妻1-10-1
ノバホール横 TXつくば駅から徒歩3分
周辺の駐車場をご利用下さい

10/2(日) 被曝予防セミナー 放射線から子どもたちを守るために
チェルノブイリ子ども基金医療顧問 小児科医 黒部信一先生を迎えて
参加申込書

コース名 _____ 班名 _____ お名前 _____ 枚 _____

【地元茨城提携米 水海道めぐみちゃん】放射能不検出 生産者「昨年米は需要に応えられないで欠品になってしまっ てごめんな。放射能には参った。今年のようなことは 生まれて初めて。ハラハラ・ドキドキだ！ 祈るしかないよ」



いかった～！これで消費者に安心のコメを
食べてもらえるなあ。いっぱい食べてくれや
水海道特産米耕作者組合長 尾故島代表



田植え(上)、草刈り(下)も組合員も
いっしょになって



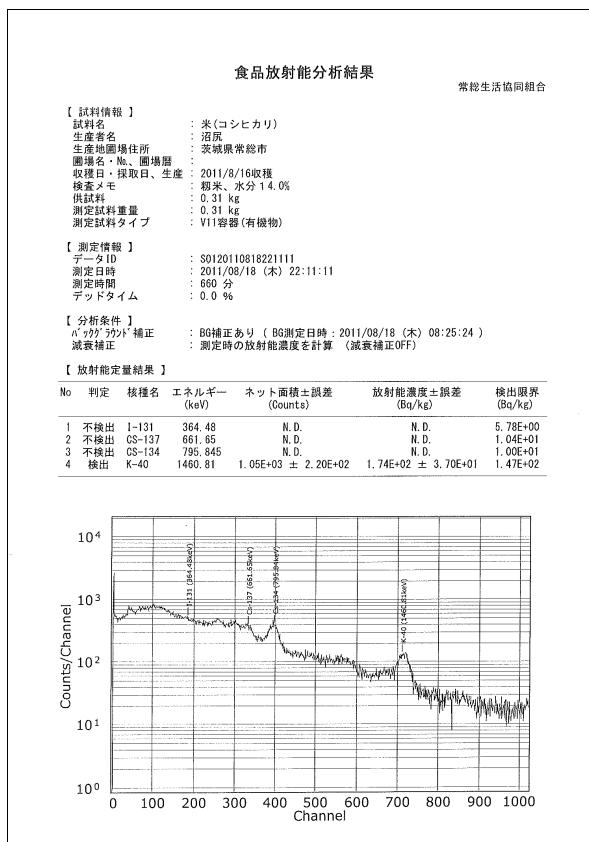
【茨城県による本検査(玄米)】 8/26 下記「常総市 東町」がめぐみちゃん 不検出

市町村	採取地(旧市町村)	採取日	放射能セシウム(Bq/kg)	備考
古河市	新久田(古河町、新郷村)	8月19日～ 8月25日	検出せず	検出せず
	柳瀬(香取村)		検出せず	検出せず
	柳瀬(高生(稲井村))		検出せず	検出せず
	女沼(常陸村)		検出せず	検出せず
	上大野(常陸村)		検出せず	検出せず
	下片田(香高村)		検出せず	検出せず
	東山田(八俣村)		検出せず	検出せず
	江口(常陸村)		検出せず	検出せず
	羊田町(長戸村)		検出せず	検出せず
	谷渡(龍ヶ崎町)		検出せず	検出せず
龍ヶ崎市	川原代町(川原代村)	8月24日～ 8月25日	検出せず	検出せず
	龍崎町(龍崎村)		検出せず	検出せず
	八代町(八原村)		検出せず	検出せず
	龍崎町(北文部村、高瀬村)		検出せず	検出せず
	常陸町(大宮村)		検出せず	検出せず
	常陸町(坂田村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(大生村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
常総市	常陸町(常陸村)	8月17日～ 8月25日	検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
つくばみらい市	常陸町(常陸村)	8月24日	検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
八千代町	常陸町(常陸村)	8月25日	検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず
	常陸町(常陸村)		検出せず	検出せず

※「検出せず」とは、放射能物質が検出しない、又は定量下限値(放射能セシウム200Bq/kg)未満であることを示す。
※暫定規制値 穀類 放射能セシウム 500Bq/kg

(検査機関)茨城県環境放射線監視センター

【常総生協独自先行検査(粳)】 8/16早刈り、「粳」の状態で行先検査 不検出



【8/24 政府・文科省、学校の「毎時3.8 μ Sv」基準を廃止】 各地で動き始めた除染対策

【守谷市】

- 市は幼児施設園庭での覆土試験と表土除去試験を行い、低減効果を確認。(北園保育所で園庭に約5cmの覆土。地表面1cm 平均で0.413 →0.165 μ Sv/hと60%減。守谷わかば幼稚園で園庭の表土を約1cm 除去。地表面1cm 平均で0.351 →0.168 μ Sv/hと52%減)
- この結果を経て、公立の幼児施設の園庭及び小学校の校庭の除染作業の実施を決定。私立の施設に対しても費用の補助を行う。これらの対策に対し、6,036万円の予算を計上。
- 市内9つの小学校について8月中に校庭の土の入れ替えを実施。松ヶ丘小学校では重機3台で表土を2～3センチ削り取り、張り芝を除去。除去した表土を敷地内に2mの穴を掘って埋め、その後、新たに汚染されていない砂や土を入れる。重機が入れない遊具のまわりなどは教員や保護者に協力してもらい手作業で表土の除去などを行う。



【石岡市】

- 林小学校では、保護者が中心となり常総生協の測定機器を使用して学校内の空間線量と校庭の土の放射線量の測定を8月18日に実施。
- 市が行った調査では校庭中央部のみの調査で0.2 μ Sv/h。保護者の独自測定では21か所を測定。子供たちが往来する渡り廊下の角では0.96 μ Sv/hを記録。採取した土を常総生協のベクレル計で測定し、渡り廊下土39,900ベクレル/kg。校庭土壌でも2,000ベクレル/kgを越えていた。
- 市は調査結果は文科省の基準値以下として除染には対応せずと。保護者有志が中心となって、子供の被曝を少なくするために、8月20日に除染作業を実施。約60人がスコップを使って側溝の泥を取り除いたり、校庭の表土を削り取って整地したりした(写真)。除染作業の結果、0.96 μ Sv/hあった場所は、0.20 μ Sv/hに低減。一番高い箇所でも0.48 μ Sv/hとなった。



【つくばみらい市】

- PTAの横のつながりで石岡市の取り組みを知った小張小学校のPTAが、同様の独自検査を8月24日に実施。調査の結果、校庭は0.2 μ Sv/h前後、校庭の端の茂みで0.5 μ Sv/h。一番高かったのが、壊れた雨樋から水が流れ落ちた地面で3.0 μ Sv/hを超えていた。
- 現場を預かる先生達も熱心で、先生の要望で午前中までの予定だった測定作業を、常総生協の線量計でさらに夕方まで延長して実施。
- 市としては、市では表土の除去作業を行わない方針。保護者が除去作業を行った場合に、除去した土壌の撤去については市がやるということ。
- 作業が終わって生協を訪れたPTA会長さんは、「行政も定期的に測定しているが、どの地点を計ったのかも分からないデータ。今回、複数の場所を計測して、高い所、低い所が確認出来、対策行動につなげられるので良かった」と。

【流山市】

- 小・中学校の低減策として高圧洗浄およびバキュームによる清掃作業を市が実施。
- 南流山小学校での先行作業の結果、概ね0.5 μ Sv/hの箇所が0.2 μ Sv/h程度に低減されたことを確認。8月17日から実施し、夏休み期間中に作業完了予定。
- 公園における低減策として、広場部分の土の天地返しやすき取りを実施。地表5cmで0.47 μ Sv/hが0.13 μ Sv/hに低減。7公園で順次実施。

【牛久市】

- 牛久市は、牛久小学校の保護者が7月15日に校内約80地点で独自測定の結果を基に、除染を市に要望したのをきっかけに、毎時0.3 μ Sv/h以上の小中学校や保育園、幼稚園に対し、校庭や園庭の表土除去やコンクリート表面への高圧洗浄などの除染作業を夏休み中にも行う。
- 建設業協会に協力を依頼して重機などを使い、表土を除去するほか、保護者らが雨といの排水口などの洗浄や狭い場所の除染作業を実施予定。